

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月 日			
平成15年度	事業コード	31520	電話	042-769-8239
担当部課名	経済部	農政	課	農業振興 班
事務事業名	農業体験学習事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第 1 章	立地特性を生かした産業の振興をめざします	事業開始年度
基本施策名	第 5 節	都市農業の振興	63以前 年度
施策名	第 2 施策	特色のある都市農業の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

あり

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
相模原市農業体験推進協議会が実施する農業体験学習事業に対して助成している。本事業は、稲作による農作業をとおして農業の大切さと働くことの喜びを認識すると共に、農業に対する理解を深めるものである。また、体験学習の一環として農業めぐりを行い、市内の農家や農業用施設を訪問見学するとともに、収穫体験などの実体験を通じて農業に対する理解を深める。	市内各小学校5・6年生 対象数 100人
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
農業体験学習は市内各小学校5・6年生を対象に参加者100名を募集し水田体験を実施(参加者94名)田植えから稲刈りまでの体験3回・農業めぐり1回・餅つき1回(参加者延べ323名) ・6月2日田植え(参加者90名)、・7月28日草取り(参加者47名)、・10月13日 稲刈り(参加者82名) ・農業めぐり8月21日(参加者22名) 〔酪農家見学、果樹農家(ブルーベリーの摘み取りや梨のもぎ取り体験)、JA営農センター(事業説明や施設見学)〕 ・農業まつりに参加 11月10日(参加者82名)餅つき 収穫したもち米による参加者に(保護者含む)農業体験の作文を依頼し作文集としてまとめ参加者に配布	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～ 年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	参加人数増減率	本年度参加人数÷前年度参加人数×100 H11:108 H12:99 H13:101	参加人数増減率から相模原市農業体験学習推進協議会が実施する体験学習のニーズをみる	92	102	93	108	106
	延べ参加人数増減率	本年度延べ参加人数÷前年度延べ参加人数×100 H11:383 H12:326 H13:329	延べ参加人数増減率から相模原市農業体験学習推進協議会が実施する体験学習のニーズをみる	85	101	98	105	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費		平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額	360	360	324	324	324
	人員・時間数	190H	190H	185H	175H	175H
	人件費	791	791	770	728	728
	その他経費					
	合計	1,151	1,151	1,094	1,052	1,052
	特定財源					
	対象数	99	101	94	100	100
	対象の単位あたり経費	11.6	11.4	11.6	10.5	10.5

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input type="checkbox"/> 高 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	事業日程により参加者人数にばらつきがある。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 本事業は、農作業とおし農業の大切さと農業に対する理解を深めるなど、都市農業の推進に適応している。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		
		説明	本事業は、特色のある都市農業の推進に寄与する事業である。
(4)効率性 評価 B ▼	A : 優れている	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 本事業の費用対効果を考えると、各体験実施に係る人件費に検討の余地があるものとした。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	本事業の対象は、一連の体験に参加し事業目的を達成することができる小学校高学年とし、募集にあたっては公立小学校にチラシの配布の依頼をした。参加者には費用の一部負担をお願いしているが今後、費用負担金額の見直しが必要と思われる
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： 各体験実施日の設定や新たなメニューを検討することで成果向上が期待できる。	手段	相模原市農業体験学習推進協議会の費用の見直しを一部14年度行っているが事業費の削減には余地がない。しかし、各体験実施に係る人員を見直すことにより人件費削減の余地はある。
		削減額	48 千円

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
	県内の市町村の中で本協議会が実施している水田体験のような長期間にわたる一貫した農業体験学習はあまりなく、経営士会やJAが主催の短期体験(例 1泊2日で農家へ泊まり、1日目農作業体験、2日目農家見学)が多い。その中で本協議会の体験学習対象者100名前後としている所はなく40～50前後が多い。また、本市のような人的支援、事業費の助成を行っているところも少ない。事業費の助成のみや事務局的事務支援が多く見られる。	
今後の進め方		
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 水田だけでなく、畑の農業体験も実施して欲しいという要望があり、また、教育委員会野外体験教室で同様の事業を15年度より開始したことを受け、本事業の今後の進め方について、見直しの必要が生じた。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

「総合学習」の一環として教育委員会への移管の検討をすること
